

議会ポスト 意見等への回答

作成日：平成27年11月25日

作成者：上越市議会議長

寄せられた意見等

市民の声ポスト、意見について御回答を頂きまして、ありがとうございました。

大変、丁寧且つ、わかり易く回答を頂き、私の勉強不足を認識した次第です。

文面にて御教示を頂きました「市議会ホームページ」について閲覧し、各議員の精力的な活動について知ることが出来ました。さすがは我が上越市の肝心、要である市議会は立派であると思えました。

市民に開かれた議会、議会改革、インターネット中継など先進的であることは間違いのない事実であり、今後も進むべき方向であると確信しました。

しかし、各議員さんの視察報告書についてですが、その内容を見て驚きを隠すことは出来ませんでした。

この報告書のどこに、今と将来の市政に関わる内容があるのでしょうか？

結論の全てが、感想、所感レベルのものであり、具体性、具現性に乏しく、空理空論に終わっていることは驚愕の事実です。議員さんほどの高い識見と教養を持っている人であれば、せめて上越市と多面的な比較を行い、その結果、どうするのか、今後、どのようにその差について対策化を行うのか、決意表明、所管表明的なものを書くべきではないでしょうか？この部分について書かれたものは皆無でした。

中学生、高校生の研修旅行の感想文であれば理解出来ますが、議員さんのものは上越市議会の議員さんのものであると全国に自信を持って発信出来るものなのでしょうか？私は上越市民として、大変、恥ずかしいと思っております。

具体的には、平成26年7月の高知市、津波避難計画については感想のみであり、具体策が全く書かれていません。目的は明確である割に、何故高知市なのか？上越市と類似性、相似性、抱えている問題点に共通性があるのか等々、不明確でした。

同じく、7月16日の高知市、南国市の収納事務についても同様です。この問題は、全国どこでも抱える問題だと思うのですが、何故、高知市、南国市なのか、その理由が全く理解出来ませんでした。7月17日高知市、地域コミュニティ協議会については、視察目的が全く不明確。平成27年1月、スワンベーカーリー（神奈川県伊勢原市）、これは全くの感想文のレベル、平成26年10月対馬、長崎県は目的が不明。「誇りと自信を持って・・・感動

した」とあるが、それに何の意味があるのか？感動した後、どうするのか？当市にどの様に取り入れるのか？平成 26 年 10 月北九州市のリノベーションによる遊休不動産の再生、目的、観点は光るものがあったが、これも感想のみ。当然ながら、この後、どのように発展させるかが全く不明である。平成 26 年 7 月倉吉市の倉吉市他地域産業振興ビジョンの、「振興ビジョンの作成プロセスや評価検証の手法は取り入れていきたい。」これも感想文レベル。その後、取り入れたのか？

全てがこのような調子であり、これらの内容のどの部分が市政に反映されていくのでしょうか？それはそれで、別の委員会、審議会があって市政が動いているのでしょうか？

視察報告書とは別に、視察の結果、この視察が市政に関わって、市政がこの様になりましたという、総括は存在するのでしょうか？存在するとすれば、その総括に生かされなかった視察は無駄だったという検証報告書はあるのでしょうか？あるのであれば、そのものをネット公開すべきです。現段階の単なる感想文では、ほとんど意味がありません。

議長様のお立場でも、この程度の報告書ではお困りではないのでしょうか？感想文を見て、それで終了、御苦勞様でした、なののでしょうか？

以上の内容をまとめます。

まず第一に、目的が極めて不明確であるということです。上越市の問題点について問題意識を持っていなければ、その改善目的は、必然的に発生しないということです。現在、ホームページにて公開されている視察の内容は、当上越市の問題点と一致しているのでしょうか？全国的に問題になっているものと上越市にとって問題点になっているものには、自ずと違いがあります。この辺の認識にズレはないのでしょうか？

各会派が考える当市の問題点、必要な研修について、徹底した議論が醸成されているのでしょうか？最初に予算が決まって、その後、あまり必要でない、優先しない視察を決めているような雰囲気が、報告書から感じ取れます。

第二に、何故遠くの四国、九州が選ばれるのでしょうか？当市と気候、風土、文化の違い以外に、市民の考え方も異なるでしょう。この違いを参考、比較、改善、改革に繋がるのであれば大いに結構ですが、報告書では、その様なことには至っておりません。近隣市町村、県内市町村の方が大変参考になると思うのですが、そうではないようです。

不思議なのは、視察先が遠くばかりが多く、近くがほとんどないということです。普通に考えれば、当市が抱える問題点を共有している市町村を全国から選択し、その市町村に行くべきであると考えますが、何故か遠方の四国、九州に集中しています。

大変失礼な物言いばかりで恐縮では御座いますが、率直な意見を申し上げました。

市民の血税、大変高額な税金で賄われている以上、費用対効果は、常に御留意されるべきものであり、今回のものも例外ではありません。本件は、市民の監視下、各議員さんの研ぎ澄まされた議論と責任ある立場の方の御英断により実効されるべきものです。必要がない、意味のない、優先しない視察を無くしてもらいたいものです。恐らく市民から、この様な意見が出て、議員自らが率先して実行されない限りは、改革は出来ないものでしょう。例年同額の予算が発生している観点では、空しい限りです。

願わくば、議会自ら、市民オンブズマン制度、会計検査院の監査を受ける位の気迫と公開性を持って、市政運営を行っていただき、「どうだ、市民よ。これが市政、視察の運営だ。」と自信を持って言って貰いたいものです。市政と視察は車の両輪であり、回転しながら次の時代のステップへ走行するものだと思います。

最後に、市政運営に直接的に関わる、重要な議員さんのあるべき姿について、そして、その公開すべき報告書に求められている要求事項、最低限の記載すべき事項、視察目的決定の理由(当市との差)、その結果の結論、そしてその内容をどのように市政に反映してきたのか？(感想は不要)、今後はどのように反映させていくのか？今後も例年どおり、予算は定額を計上し、何の改善、変更も行わないのか？について、改めて質問をさせていただきます。

回 答

議員の先進地視察等に関するご意見をいただき、誠にありがとうございます。

市議会では、委員会や会派、議員が、市の事務に関する調査研究を行うため、先進的な取組を行う自治体の視察等を行っています。視察等に要する経費は、予算に定める額の範囲内で、公費により賄われています。また、視察の実施に当たっては、委員会の視察については委員間の協議を経て議長の承認を、その他の視察については議長への事前届出を義務付けているほか、視察終了後は、全議員に結果を報告するとともに、視察報告書の提出を義務付け、公表しています。

これまで、視察先の選定方法や視察報告書の様式などについて、特別なきまりは設けておりませんでした。ご意見を受け、より透明性の高い情報発信の必要性を感じたことから、さっそく、議会内部で検討することと致しました。

当市議会では、「市民に開かれた議会、信頼される議会」を目指して議会改革に取り組んでおり、議員が行う調査活動を市民の皆さんに分かりやすく伝えることは、我々の責務です。今後も、ご意見、ご要望などをお聞かせいただきたいと思います。